

# 「串良小学校の戦跡を活用した平和学習の取組」

## 1 学校名

鹿屋市立串良小学校

## 2 学年・人数

6年生（計30人）

## 3 日時・場所

戦跡を活用した平和学習の日時・場所

令和5年5月24日（水）8:30～12:00 総合的な学習の時間

9:00～ 海上自衛隊鹿屋航空基地資料館

10:00～ 海軍航空隊笠野原基地跡の川東掩体壕

11:00～ 海軍航空隊串良基地跡の地下壕電信室

11:30～ 串良平和公園

## 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・特徴について

- 海上自衛隊鹿屋航空基地資料館
  - ・太平洋戦争当時使用されたゼロ戦の復元機の展示
  - ・特攻戦死者の遺影・遺書の展示
- 海軍航空隊笠野原基地跡の川東掩体壕（かわひがしえんたいごう）  
敵機の銃撃からゼロ戦等の機体を守るために造られた掩体壕
- 海軍航空隊串良基地跡の地下壕電信室（ちかごうでんしんしつ）  
特攻出撃した隊員からの通信を受信した電信室
- 串良平和公園  
海軍航空隊串良基地跡に太平洋戦争で亡くなった特攻隊員・一般隊員の慰霊塔が建立され、人類の恒久平和を願い「平和公園」と名付けた。

## 5 地域との連携の具体

地域の戦跡に詳しいガイドに説明を依頼して、掩体壕や地下壕電信室を実際に見て、当時、その戦跡を造った人たちの苦労や生活の様子を聞いて、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて学んだ。

## 6 活用の取組の工夫した点

- ・ エコバス学習を活用した実施計画とした。
- ・ 資料館では、館内案内人から太平洋戦争当時の日本の状況の説明を受け、特攻戦死者の遺影や遺書を実際に目にすることで、鹿屋は戦争で重大な役割を果たしていた場所であることを実感した。

## 7 取組の様子



「資料館」



「地下壕電信室」



「川東掩体壕」



「平和公園の慰霊塔」

## 8 参加児童生徒・教職員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 違う場所で起きたことだと思っていた戦争が、自分たちのすぐ身近なところで関わっていて驚いた。
- ・ ガイドさんや平和資料館の方の説明が、丁寧で分かりやすかった。
- ・ 思っていたよりも、掩体壕が大きく、当時多くの人たちが苦勞して作ったことが分かった。

### 【教職員】

- ・ 戦跡周辺の様子や、実際に体験して当時の様子を想像したりしながら、思いを巡らせ学習を進めることができた。
- ・ 社会科の授業前に学習することができたため、授業の中で関連して学習することができた。